

# 読み 書き 発音

- 四技能、三要素の総合向上を目指して -  
EYkM-31

曜日： **Wednesday**

時間： **13:30-16:20**

レベル： **中級**

講師： **Ms.大石美幸**

目的： 英語の学習は、よく、Listening, Speaking, Reading, Writing の四つの技能に分類され、それらをまんべんなく高めていくことが大事と言われます。また、日本の学校英語教育は文法や読み書きばかりに力を注ぐため、リスニングや会話ができない人が多い、ともよく聞かされます。果たして、そうでしょうか？会話というのは、上記四技能の総合力、プラス想像力と機転だと思のですが、想像力と機転はさておき、読み書きをないがしろにする結果、ご自分が求めるレベルの「会話」ができないのでは、と思います。これは、母語においての場合に転換すれば、容易に想像できるのではないのでしょうか。

一方、外国語学習において無視できない三要素がバランスよく学ばれないことも、英語学習成功者が少ない原因ではと考えます。無視できない三要素とは、発音、文法、語彙です。これらは、外国語を学ぶとなると正面から取り組まなければならないものですが、文法と語彙だけは特別視され、それだけを偏った方法で学ぶ人が多いなか、発音に注目する人が非常に少ないのは、学校英語、受験英語を引きずっているからでしょうか。

上記の状況から、日本人学習者に必要な英語学習とは、発音、文法、語彙学習を、Listening/Speaking/Reading/Writing のすべての分野でバランス良く融合することと考えます。

今まで脚光を浴びることが少なかった分野を英語学習の大切なエレメントととらえ、その大切さを「読み 書き 発音」というタイトルに込め、総合的な目標である、「四技能のバランスのとれた学習」を目指します。

授業内容： Cutting Edge というテキストを使って学んでいきます。上記四技能と三要素をバランスよく融合させた演習豊富なテキストです。

演習豊富ということは、学習者が参加する率が大変高いということです。講義を受動的に受けるのではなく、受講者が無理なく自然に発話できるよう、うまくデザインされたテキストです。もちろん「発話」だけでなく、それを促すための「聞き取り」、「読み」、それらを総合的にまとめあげる「書く」学習も織り込まれています。

特にフォーカスが必要な箇所は、In Use Series; CUP などの他テキストから該当箇所を抜粋し、苦手箇所を克服しながら学んでいきます。

教材： **New Cutting Edge, Intermediate; Pearson Longman Module 2** から始めます。